

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 25 日

堺 市長 永藤 英機 殿

提出者 住 所 大阪府堺市西区築港新町
3丁16番地
氏 名 コスモ石油株式会社堺製油所
取締役常務執行役員 堺製油所長
春井 啓克
電話番号 072（245）8554

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	コスモ石油株式会社 堺製油所
事業場の所在地	大阪府堺市西区築港新町3丁16番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日□
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	17 石油製品・石炭製品製造業
② 事業の規模	原油処理能力 100,000バレル/日 (1バレル=159リットル)
③ 従業員数	436人 (2025年6月現在)
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

（日本工業規格 A列4番）

前 年 度 【 令 和 6 年 度 】 実 績

提 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総合的に管理する支店等の住所	特別管理産業廃棄物を排出する事業場を総合的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府堺市西区築港新町3丁16番地	コスモ石油株式会社 堺製油所	安全環境課				

特別管理産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況																					
	① 排出量(t)	② 自ら直接再生利用した量(t)	③ 自ら直接埋立処分した量(t)	④ 自ら中間処理した量(t)	⑤ ④のうち熱回収を行った量(t)	⑥ 自ら中間処理した後の残存量(t)	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t)	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t)	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	⑩ 直接及び自ら処理した後の処理委託量(t)	(⑪=①-②-③-④+⑥-⑧-⑨)=⑫+⑬+⑭+⑮+⑯)					⑰+⑱	⑲+⑳					
コード	名 称														⑫ 再生利用者への処理委託量(t)	⑬ 熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	⑮ その他の中間処理委託量(t)	⑯ 埋立処分委託量(t)	⑰ 優良認定処理業者への処理委託量(t)	⑱ 自ら再生利用を行った量(t)	⑲+⑳ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)
コード 業種別	特別管理産業廃棄物の種類	発生した特別管理産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理せず自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理せず自ら埋立処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した特別管理産業廃棄物の中間処理前の量	④の量のうち、熱回収を行った量	自ら中間処理した特別管理産業廃棄物の中間処理後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量(自動計算)	⑤の量のうち、自ら利用又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量(自動計算)	⑪の量のうち、処理業者への処理委託量(⑬、⑭を除く)	⑪の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への処理委託量	⑪の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への処理委託量	⑪の量のうち、委託して破砕等の中間処理をした量(⑰～⑱を除く)	⑪の量のうち、委託して直接埋立て最終処分した量	⑪の量のうち、優良認定処理業者への処理委託量	⑲の量と⑳の量を合計したもの(自動計算)	⑲の量と⑳の量を合計したもの(自動計算)			
1	①特管に準ずる廃油(有害)	99								99		99					99					
2	②引火性廃油	2								2		2					2					
3	③強アルカリ(廃ソーダ)	2,022								2,022				2,022			2,022					
4	④PCB含有廃棄物	0																				
5	⑤廃石綿	0																				
6	⑥強酸	1,682								1,682		1,682										
7																						
8																						
9																						
10																						
11																						
12																						
13																						
14																						
15																						
16																						
17																						
18																						
19																						
20																						
	合計	3,806	0	0	0	0	0	0	0	3,806		1,784	0	0	2,022	0	2,124	0	0			

(注) トン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【令和7年度】目標

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総合的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総合的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府堺市西区築港新町3丁16番地	コスモ石油株式会社 堺製油所	安全環境課				

特別管理産業廃棄物の種類	計画の実施状況														②+⑧	③+⑨						
	① 排出量(t)	② 自ら直接再生利用した量(t)	③ 自ら直接埋立処分した量(t)	④ 自ら中間処理した量(t)	⑤ ④のうち熱回収を行った量(t)	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t)	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t)	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t)	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	⑩ 直接及び自ら処理した後の処理委託量(t)	(⑪=①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨ =⑩+⑬+⑭+⑮+⑯)						⑰ 優良認定処理業者への処理委託量(t)					
コード	名称	委託先による区分													⑱ 再生利用者への処理委託量(t)	⑲ 熱回収認定業者への処理委託量(t)	⑳ 熱回収を行う業者への処理委託量(t)	㉑ その他の中間処理委託量(t)	㉒ 埋立処分委託量(t)	㉓ 優良認定処理業者への処理委託量(t)	⑳+㉑	㉒+㉓
コード参照	特別管理産業廃棄物の種類	発生した特別管理産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した特別管理産業廃棄物の中間処理前の量	④の量のうち、熱回収を行った量	自ら中間処理した特別管理産業廃棄物の中間処理後の量	④の量から⑤の量を差し引いた量(自動計算)	⑥の量のうち、自ら利用又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量(自動計算)	⑱の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑲、⑳を除く)	⑲の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑳の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	㉑の量のうち、委託して焼却等の中間処理をした量(㉒～㉓を除く)	㉒の量のうち、委託して直接埋立て最終処分した量	㉓の量のうち、優良認定処理業者への処理委託量	⑳の量と㉑の量を合計したもの(自動計算)	㉒の量と㉓の量を合計したもの(自動計算)			
1	①特管に準ずる廃油(有害)	200								200	200					200						
2	②引火性廃油	100								100	100					100						
3	③強アルカリ(廃ソーダ)	2,500								2,500				2,500		2,500						
4	④PCB含有廃棄物	0								0				0		0						
5	⑤廃石綿	0								0				0		0						
6	⑥強酸	1,000								1,000	1,000											
7										0												
8										0												
9										0												
10										0												
11										0												
12										0												
13										0												
14										0												
15										0												
16										0												
17										0												
18										0												
19										0												
20										0												
合計		3,800	0	0	0	0	0	0	0	3,800	1,300	0	0	2,500	0	2,800	0	0	0			

(注) トン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
別紙の通り	

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状	【前年度（令和6年度）実績】						
	<table border="1"><thead><tr><th>特別管理産業廃棄物の種類</th><th>①特管に準ずる廃油（有害）</th><th>②引火性廃油</th></tr></thead><tbody><tr><td>排出量</td><td>別紙の通り t</td><td>別紙の通り t</td></tr></tbody></table>	特別管理産業廃棄物の種類	①特管に準ずる廃油（有害）	②引火性廃油	排出量	別紙の通り t	別紙の通り t
	特別管理産業廃棄物の種類	①特管に準ずる廃油（有害）	②引火性廃油				
	排出量	別紙の通り t	別紙の通り t				
(これまでに実施した取組)							
・日々運転管理を行い、安定操作を続けることで、廃棄物発生を抑制している。							
②計画	【目標】						
	<table border="1"><thead><tr><th>特別管理産業廃棄物の種類</th><th>①特管に準ずる廃油（有害）</th><th>②引火性廃油</th></tr></thead><tbody><tr><td>排出量</td><td>別紙の通り t</td><td>別紙の通り t</td></tr></tbody></table>	特別管理産業廃棄物の種類	①特管に準ずる廃油（有害）	②引火性廃油	排出量	別紙の通り t	別紙の通り t
	特別管理産業廃棄物の種類	①特管に準ずる廃油（有害）	②引火性廃油				
	排出量	別紙の通り t	別紙の通り t				
(今後実施する予定の取組)							
・現状維持							

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状						
③強アルカリ（廃ソーダ）	④PCB含有廃棄物	⑤廃石綿	⑥強酸			
別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t			
②計画						
③強アルカリ（廃ソーダ）	④PCB含有廃棄物	⑤廃石綿	⑥強酸			
別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t			

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃液の種類ごとにタンクが独立している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			①現状				①現状			
	特別管理産業廃棄物の種類	①特管に準ずる廃油（有害）	②引火性廃油	③強アルカリ（廃ソーダ）	④PCB含有廃棄物	⑤廃石棉	⑥強酸				
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り	t	別紙の通り	t	別紙の通り	t	別紙の通り	t	t	t
	(これまでに実施した取組)										
・実施していない											
②計画	【目標】			②計画				②計画			
	特別管理産業廃棄物の種類	①特管に準ずる廃油（有害）	②引火性廃油	③強アルカリ（廃ソーダ）	④PCB含有廃棄物	⑤廃石棉	⑥強酸				
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り	t	別紙の通り	t	別紙の通り	t	別紙の通り	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)										
・予定なし											
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			①現状				①現状			
	特別管理産業廃棄物の種類	①特管に準ずる廃油（有害）	②引火性廃油	③強アルカリ（廃ソーダ）	④PCB含有廃棄物	⑤廃石棉	⑥強酸				
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り	t	別紙の通り	t	別紙の通り	t	別紙の通り	t	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り	t	別紙の通り	t	別紙の通り	t	別紙の通り	t	t	t
(これまでに実施した取組)											
・実施していない											
②計画	【目標】			②計画				②計画			
	特別管理産業廃棄物の種類	①特管に準ずる廃油（有害）	②引火性廃油	③強アルカリ（廃ソーダ）	④PCB含有廃棄物	⑤廃石棉	⑥強酸				
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り	t	別紙の通り	t	別紙の通り	t	別紙の通り	t	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り	t	別紙の通り	t	別紙の通り	t	別紙の通り	t	t	t
(今後実施する予定の取組)											
・予定なし											

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			①現状				①現状			
	特別管理産業廃棄物の種類	①特管に準ずる廃油（有害）	②引火性廃油	③強アルカリ（廃ソーダ）	④PCB含有廃棄物	⑤廃石棉	⑥強酸				
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)										
・実施していない											
②計画	【目標】			②計画				②計画			
	特別管理産業廃棄物の種類	①特管に準ずる廃油（有害）	②引火性廃油	③強アルカリ（廃ソーダ）	④PCB含有廃棄物	⑤廃石棉	⑥強酸				
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)										
・予定なし											
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			①現状				①現状			
	特別管理産業廃棄物の種類	①特管に準ずる廃油（有害）	②引火性廃油	③強アルカリ（廃ソーダ）	④PCB含有廃棄物	⑤廃石棉	⑥強酸				
	全処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)											
・廃棄物の最終処分率削減の為、埋立処分以外の方法で適正に処理できる業者に委託を行っている。 ・委託契約締結の前及び必要に応じて委託先の現地確認を行い、処分状況等を確認している。 ・廃棄物の安定処理にむけて処理先の複数化を行っている。 ・電子マニフェストを導入し、法令順守・透明性の確保を行っている。											

	【目標】		②計画				②計画				
	特別管理産業廃棄物の種類	①特管に準ずる廃油(有害)	②引火性廃油	③強アルカリ(魔ソーダ)	④PCB含有廃棄物	⑤廃石棉	⑥強酸				
②計画	全処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	別紙の通り t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・従来通り「優良認定処理業者」及び「リサイクル業者」への委託を優先する。										
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(令和6年度)実績】										
	特別管理産業廃棄物排出(ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く)	2,790 t									
※事務処理欄	(今後実施する予定の取組)										
	電子マニフェストの利用継続										

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者にとっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。